



なのはな通信

26年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No.11

平成26年9月17日

祖父母参観デーと高瀬忠三・悦子先生

敬老会に特別ゲストとして、高瀬悦子様（98歳）にお越しいただきました。中部小第16代（昭和46年4月～48年3月）校長高瀬忠三先生の奥様です。高瀬忠三先生は、社会科の教師でしたが、バイオリン奏者でもあり、小中学校の音楽教育に尽力され、中部小学校100周年のお祝いの会では、記念の歌を作詞作曲されました。高瀬先生は、平成10年に亡くなられました。奥様は八歳で箏曲（琴）を習い始められ、「箏曲の楽聖」とも言われた宮城道夫先生（『春の海』の作曲者）の元で修行をし、「日本の伝統音楽である箏曲が、片隅の音楽にならぬよう正しく美しく後世に伝えて欲しい」という意思を継ぎ、今まで箏曲を正しく、美しく伝えつづけてみえました。今は娘の紀子様とその技を継承してみえます。高齢を迎えられた現在も演奏会に出られるそうです。

宮城道夫先生の供養塔がJR刈谷駅近くの公園に建てられており、その横に忠三先生が五線譜に書いた「春の海」の楽譜、左側には長男一義氏が勉強して写した点字の楽譜が彫り込んであります。（※昭和31年6月、宮城道夫は、JR刈谷駅付近で寝台急行「銀河」から転落し、亡くなった。）敬老会では「さくら変奏曲」の心に響く琴の音色に感動しました。



楽聖宮城道夫供養塔



高瀬忠三先生が書いた五線譜「春の海」

稲刈り体験

9月11日（木）、今年も2年生と5年生が、下合歓木町の二村さんのお世話になり稲刈りの体験をさせていただきました。田植えをしてから、稲の成長を観察してきました。刈り取った稲は、コンバインで脱穀して、乾燥、もみすり、精米、色彩選別機にかけるられて、お米になるまで手間がかかります。

二村さんには、中部小の子たちのために17年間もお世話になっています。大変ありがとうございます。



9月11日（木）
地方審査が行われました。



FBC秋花壇コンクール

